

民主化闘争情報

No. 1026
2020年2月4日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR東労組の内部対立は深まる一方である。中央本部を擁護する立場で「JR東労組東京地本を守る会」なる組織が結成され、組織脱退の流れを食い止めようとする動きを見せる一方、「真実の目」は中央本部とこれに同調する各地本を批判するブログやJR東労組現中央本部執行委員長の会話記録をYouTubeで公開、こうした動きに呼応するかのよう各地で怪文書が現出する始末。こうした中、水戸、東京、八王子地本の複数職場では、組合員が「分裂組織にいくのか、JR東労組に残るのか、組合をやめるのか」を役員に迫られるなど、職場は混乱している。組織分裂が現実味を帯びる中、双方の綱引きに挟まれた組合員の憂鬱は募るばかりだ。

いよいよ組織分裂間近か?!

「真実の目」「連帯する会」「東京地本を憂う会」「JR東労組東京地本を守る会」「元総連役員の手紙」などなど・・・

JR東労組中央本部の情報によれば、現在JR総連書記長の柳明則氏らが共同代表を務める「JR東労組東京地本を守る会」なる組織が新たに結成、「JR東労組からの脱退・分裂組合の立ち上げに反対する」とのスローガンが掲げられ、中央本部はこれを支援・協力することを決定したようである。さらに「東京地本を憂う会」という組織から、中央本部に賛同するかのよう「告発文」なるものが届けられた由。

一方、ネットサイト「真実の目」は、JR総連執行部や中央本部、及びそれに同調する各地本を批判するブログを掲載し続け、さらに東京地本らに関係する人物が関与していると思われる「連帯する会」は地方議員や弁護士など多くの賛同者を味方に付けて、JR東日本における不当労働行為の実態を世間に晒すといった有様。ご覧の通り、それぞれが罵り合いに明け暮れる始末である。

東京地本の情報には「最近、東京地本組合員の自宅に、元総連役員から怪しげなレポートが届けられているそうです」「複数の職場で怪しい動きの報告が来ています」といった記述も。過去に組織混乱をきたした際、必ずと言ってよいほど出現したこうした彼らお得意の“不穏な”動きが、いよいよ今回の件でも顕在化してきた。

組合員は判断を迫られ、職場は混乱?!

こうした組織対立によって様々な情報が錯綜し、社員・組合員が板挟み状態になるなど、職場は混乱をきたしているようである。状況を憂慮した多くの職場の管理者が、職場の安定を願いながら日々苦慮しているとも聞く。このような状況を放置してよいはずはない。

一日も早く職場を安定させ、社員・組合員、そして管理者も含めて、安心して意欲を持って働き続けることができる環境をつくるためにも、JR東日本において今まさに真に民主的な労働組合の勢力を拡大し、健全で強固な労使関係を職場の隅々まで構築することが必要不可欠である!

安心して意欲を持って働ける環境こそが安全・安定輸送をつくる!!

真に民主的な労働組合勢力の拡大と職場に健全な労使関係を築こう!!